

あなたどるなかれ…裏側で動くJavaScriptも
直接いじれちゃう

その1：まずは始める… GUIブロック・プログラミング

ご購入はこちら

永原 柊

もともと micro:bit は英国で教育用マイコンとして開発されました。そのため、プログラミング初心者向けの開発環境が充実しています。

この章では、その開発環境の中からブロック・エディタを選んで、ビジュアル・プログラミングを試してみます。見た目で子供向けと判断して軽く考えてしまいがちですが、実際に使ってみると案外便利で、ばかにできません。まず体験してみましょう。

ブロック・エディタ開発環境

● 起動

ここで紹介するブロック・エディタはウェブ・ブラウザから利用します。

micro:bit の公式サイト (<https://microbit.org/ja/>) の画面上部にある「プログラムしましょう」[図1(a)]をクリックします。

クリックして表示されたページで、JavaScript ブロック・エディタの「プログラムしましょう」[図1(b)]をクリックします。

これでブロック・エディタが開きます [図1(c)]。

● 基礎知識

ブロック・エディタは大きく分けて、次の3つからなります。

- 左側の micro:bit シミュレータ
- 中央のブロック・カテゴリを選ぶタブ
- 右側の編集領域

編集領域には、「最初だけ」と「ずっと」という2つのブロックが用意されています。

では、実際にプログラムを作りながら使い方を見ていきます。

その1：Lチカ・プログラムを作る

LEDマトリクスの上左のLEDを点滅させるプログラムを作ってみます。



(a) トップ画面



Pythonエディター

(b) プログラミング言語の選択



(c) ブロック・エディタ画面

図1 入門向けブロック・エディタはウェブから起動できる

● LED表示を反転させる

まず中央にあるLEDタブを選ぶと、LEDに関連するブロックが表示されます。この中から「反転」と書